



# 図書館だより

## 読書月間 特別号第3弾

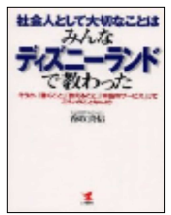
読書月間企画第3弾をお届けします。企画の最終号は1年生図書委員からの推薦本です。文章作りにさんざん苦労した1年生委員でしたが、一生懸命書いた推薦文、読んでみて下さいね。



1-1 林 美菜子  
『いまはむかし』  
安澄加奈著  
弥吹は武官になる宿命から逃れるため家を出、旅にでる。彼の前にかぐや姫の5つの宝を探す2人の少年が現れる。もうひとつの「竹取物語」。本編とのギャップが魅力的であり、文章表現も豊かなので楽しめる本です。



1-1 今井 麻友  
『社会人として大切なことはみんなディズニーランドで教わった。』  
香取貴信著  
世間的に不良と呼ばれる少年が、ディズニーランドで、働くという事、人として大切な事を学び成長する物語。読めば、大人と子供の違い、社会に出ることなど、大切なことを学べます。



1-2 毛利 優希  
『銃・病原菌・鉄』  
ジャレド・D著  
なぜアメリカ大陸の先住民は旧大陸の住民に征服されなかったのか。そんな現代世界の富のパワーを、生物、言語学の視点からいま解き明かす。題名とおり、3つのキーワードから歴史の貧富の差について語られていて興味深い。



1-2 久保田 結衣  
『ミミズクと王子様』  
紅玉いづき著  
自らをミミズクと名乗る死にたがりやの奴隷の少女と、人間嫌いの美しい夜の王の、切なく哀しいラブファンタジー。小さなミミズクが、たくさんの優しさと愛情に触れ、成長していく姿が見所です。



1-3 田高 出帆  
『人生を最高に楽しむために20代で使っていない100の言葉』  
千田琢哉著  
人生を楽しむ為に使っていないNGワードが書かれた本で、無意識のうちに使ってしまった言葉もある。「自分で発した言葉通りの行動をしてしまう」とあるが本当に共感出来て面白い。



1-3 高木 晴香  
『デュラララ!!』  
成田良悟著  
東京の池袋で、様々なカラーギャングや特殊な人物達が織り成す、妖精と現実との裏世界を両立させた不思議な物語。巻を追うごとに明らかになっていくキャラクター達の生い立ちと正体がとても魅力的です。



1-4 阿部 優花  
『ラスト・ゲーム』  
かな著  
高校バスケット部の舞台のラブストーリー。バスケット部の元也は女バスの麻子より身長はないが麻子が好きで、でも片思い中。毎日2人でバスケの練習をしている内に距離が縮まっていく所がどきどきポイント!!



1-4 真栄城 紗英乃  
『スポーツから気づく大切なこと』  
中山和義著  
スポーツは、技術だけでなく精神面でも多くのことを学べる。部活の試合で涙したり、勝敗を決めるナイスプレーで鳥肌が立ったり。自分はこの本を読んで精神面が鍛えられるところに一番共感した。



1-5 大沼 晃介  
『ひぐらしのなく頃に』  
龍騎士著  
前原圭一は雛見沢村という閉ざされた村で奇怪な殺人事件を追うが、仲間の不審な態度に疑念を持つ。自らも命を狙われるようになった前原は…。この物語は、出題編に対して解答編もあり、読者が考えながら読み進めるところが面白い。



1-5 根本 茜  
『リアル鬼ごっこ』  
山田悠介著  
現実の世界とは別のもう1つの世界である「パラレルワールド」という、2つの世界でくり広げられる鬼ごっこ。必死で鬼から逃げようと頑張っている逃亡者の生き様が、面白いので見て下さい。



1-6 井上 亜美  
『hands』  
命をかけて、愛した。やっぴ著  
重い病気にかかり、毎日病室で過ごしていた瑠璃華。そんな中、同い年の自暴自棄な恭平に出会った。「死」を軽く口にする恭平と「死」が間近な瑠璃華。2人の寄り添う姿にとっても感動する。



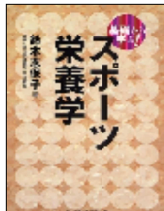
1-6 飛田 明日香  
『青空のむこうに』  
月森みるく著  
バスケットが好きな高1の柚香は、試合のメンバーに抜擢されたことでイジメを受け、部活を辞めてしまうが、ある日届いた間違ったメールに励まされ、バスケットに再挑戦する物語。おすすめポイントは、「努力すれば願いが叶う」と信じて一生懸命頑張る所です。



1-7 山下 創貴  
『日本男児』  
長友佑都著  
サッカーの長友選手の今までの振り返り、彼の感じたことや考え方が書かれている。人としての生き方、トッププレイヤーのものの考え方がよくわかる本。何を思い、どう行動にうつしてきたのか、様々なエピソードから読み取ることができ、面白い。



1-7 岡部 樹生  
『スポーツ栄養学』  
鈴木志保子著  
栄養素と食品の基礎知識、体のしくみ、エネルギー代謝などスポーツするのに大切なことが書いてある。部活動をやっている人ももちろん、栄養を上手にとるために使えます。



1-8 伊藤 駿介  
『日本男児』  
長友佑都著  
サッカー選手の長友の小さい頃から現在までの人生が書かれている。自分はサッカー部に所属しているが、長友選手のようにどんなことがあっても夢をあきらめないうと叶うということを読んでも感じてみた。



1-8 有住 隆哉  
『勝利の伝道者』  
矢崎良一著  
9人の高校野球監督の、選手たちへの指導法が書かれている。僕たち野球部の金澤監督も掲載されていて、「0からのスタート」という明秀野球部に対する思いが語られている。本からも監督のオーラを感じてほしい。



1-9 星 明日香  
『学園キノ』  
時雨沢恵一著  
中高一貫の学園に通う主人公木乃と不思議なストラップエルメスの2人で、学園に現れる魔物を倒し事件に挑むというファンタジー。キノの旅のキャラクターたちが、学園バージョンになってます。



1-9 吉成 美咲  
『謎解きはディナーのあとで3』  
東川篤哉著  
宝生邸に眠る秘宝が怪盗に狙われる？次々と発生する難事件に麗子はピンチ。ラストでは麗子と影山、風祭の3人の人間関係に大きな変化が訪れて！?風祭警部のアホっぽい推理が面白い。3人の関係にも注目。



1-10 木村 海南江  
『貝殻チェリー』  
青山こはる著  
高校生ナツは恋愛小説サイトが大好き！ある日同じクラスの超不良・鷹山が自分の気になる作者だと知ってしまう！?金髪ヤンキーとメガネ男子に揺れ動く主人公の恋の変化に注目。



1-10 砂川 龍二  
『珈琲店タレーランの事件簿』  
岡崎琢磨著  
女性バリスタの聡明な頭脳は店に持ち込まれる謎を鮮やかに解き明かしていく。軽妙な会話と個性的なキャラが魅力的。珈琲店タレーランの店主・美星の淹れるコーヒーと美星本人に惹かれる主人公の気持ちに共感できる男性は多いことでしょう。

